消化器外科を受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>研究課題名</th>
<th>当院における大腸憩室炎に対する開腹および腹腔鏡手術の成績</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>研究機関名</td>
<td>愛知医科大学病院</td>
</tr>
<tr>
<td>研究機関の長</td>
<td>病院長 藤原洋裕</td>
</tr>
<tr>
<td>担当科等</td>
<td>消化器外科</td>
</tr>
<tr>
<td>研究責任者</td>
<td>教授（特任） 小松俊一郎</td>
</tr>
<tr>
<td>試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名</td>
<td>非該当</td>
</tr>
<tr>
<td>研究の意義・目的</td>
<td>懐室炎に対する開腹および腹腔鏡下の当院の手術成績を検討し、腹腔鏡手術の妥当性を検証します。</td>
</tr>
<tr>
<td>対象となる患者さん</td>
<td>2015年1月から2018年10月における懐室炎に起因した開腹手術20例、腹腔鏡手術20例の患者さん。</td>
</tr>
<tr>
<td>研究の方法</td>
<td>開腹手術と腹腔鏡手術で、年齢、炎症部位、緊急手術の有無、内科的治療抵抗性の有無、臓器形成の有無、術式、手術時間、出血量、術後在院日数、術後合併症の件数を検討、比較し、それぞれの安全性と有効性について検討します。</td>
</tr>
<tr>
<td>研究期間</td>
<td>倫理審査承認日 ～ 2019年12月31日</td>
</tr>
<tr>
<td>研究に用いる試料・情報</td>
<td>情報：カルテの記録（診療記録、内訳表、血液検査結果、画像検査結果、手術映像など）を用います。</td>
</tr>
<tr>
<td>外部への試料・情報の提供</td>
<td>なし</td>
</tr>
<tr>
<td>試料・情報の利用又は提供を希望しない場合</td>
<td>本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。</td>
</tr>
<tr>
<td>問い合わせ先</td>
<td>愛知医科大学 医学部消化器外科学講座 担当者：医員助教 加藤翔子 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線22121）</td>
</tr>
</tbody>
</table>

記